

事例で考える 人的資本経営時代の知財法務

労働法務と知財法務の融合:リスク管理から戦略へ

◆労働法務と知財法務の双方の対応が必要となる諸問題を裁判例をベースに事例を検討

◆知財・法務部門の方はもちろん、管理部門や経営者も必見の内容!

■開催日時

2025年 6月 18日[水]

時間14:00~16:30(途中休憩有り)

★オンデマンド視聴可能

申し込んでいただいた皆様には、セミナー終了後にセミナーを録画した動画(2週間閲覧可能)の閲覧用URLをお送りいたしますので、セミナー当日に都合がつかない方も受講可能です。

近年、経営戦略と人材戦略を連動させた、人的資本経営の実施に向けた企業経営の変革が説かれています。「人材戦略」という場合、イノベーションの創出や、IT技術の活用も示唆されており、労務だけでなく、知的財産法の議論との関係も存在します。

その反面、労働法務と知財法務の双方が高度化・専門化する中で、両者は分けて論じられることも多いです。しかし、実務上、企業の担当者は、両者の議論が混然一体となった問題に直面し、適切な対応を社内で求められることは少なくありません。さらに、国際化やIT技術の発展は、こうした問題を日々、より複雑にしています。

本セミナーでは、知財と労務の両面からの対応策が必要な問題に直面した企業の担当者が、対策・対応を考えるヒントになるよう、代表的なリスクを解説します。人材の採用から業務遂行、評価、退職までの時系列に沿って、裁判例をベースにした事例の検討を行います。

●講師: ユアサハラ法律特許事務所 弁護士 瀬戸 一希 氏

●会場: Zoomを使ったオンラインセミナー